

取外し

ツインパワータービン TWINPOWER TURBINE



チューブ接手のリングを持ち、ハンドピースをまっすぐ引抜きます。

●オートクレーブ滅菌できる付属品

- ・注水口ワイヤー
- ・バー着脱工具



トルクテック TORQTECH



マイクロモーターを持ち、ハンドピースをまっすぐ引抜きます。

●オートクレーブ滅菌できる付属品

- ・注水口ワイヤー



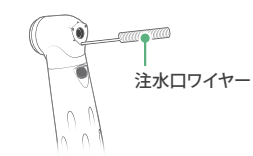
洗浄

●ヘッドの清掃



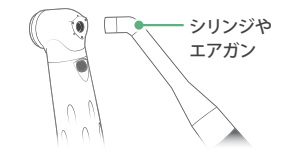
ハンドピースに付着した切削粉や研磨剤を、流水でブラシなどを用いて清掃します。

●注水口の清掃



付属の注水口ワイヤーで注水口を清掃します。

●乾燥



清掃後、シリンジやエアガンなどでエアーを吹付けて内部の水分を除き、乾燥させます。

消毒

消毒用エタノールを含ませたガーゼで、ハンドピース全体を清拭します。

注油

！モリタマルチスプレー又はARスプレーで！

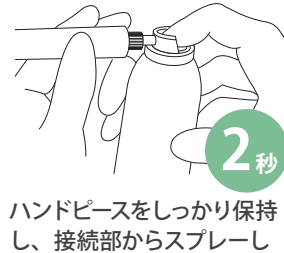
●チャック部への注油



プッシュチャック式 (PARシリーズ) の場合

ヘッド部をガーゼ等でおおい、バー挿入口からチャック部へスプレーします。

●ボディへの注油



ハンドピースをしっかり保持し、接続部からスプレーします。

フリクションチャック式は、チャック保持力テスターに潤滑油を付けてから行います。

フリクションチャック式 (SARシリーズ) の場合

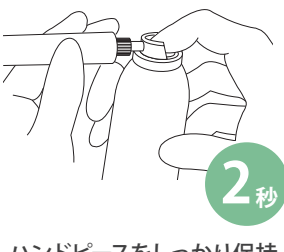
●チャック部への注油



CA-5IF(-O) の場合 (5倍速)

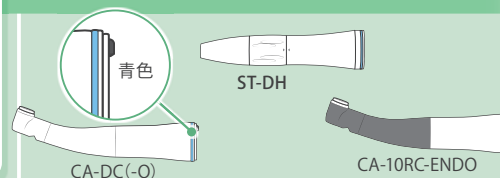
ヘッド部をガーゼ等でおおい、バー挿入口からスプレーします。

●ボディへの注油



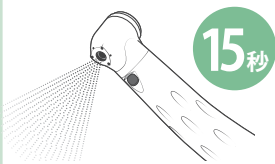
ハンドピースをしっかり保持し、接続部からスプレーします。

ST-DH、CA-DC(-O)、CA-10RC-ENDO の場合



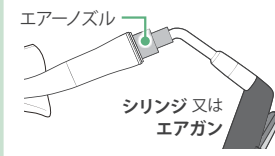
包装

●余分な油分の除去 (空回転)



1. チューブにハンドピースを取付けます。
2. ハンドピースを回転させ、ヘッド内の余分な油分を除去します。
3. 油分をガーゼで拭取り、チューブからハンドピースを取外します。

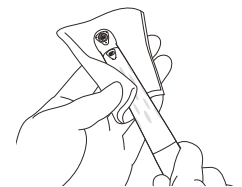
●スプレー液の除去



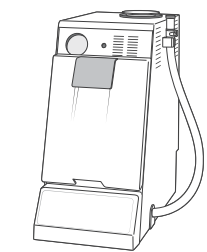
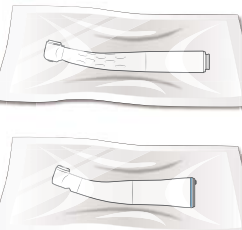
1. 接続部からエアーを吹付け、スプレー液を吹飛ばします。
2. ハンドピースの表面に出たスプレー液を、ガーゼ等で拭取ります。
3. マイクロモーターにハンドピースを取付け、タービンと同様に空回転を行います。

30秒

滅菌



ガーゼでハンドピースを拭き、個々に滅菌パックに入れて封をします。



オートクレーブ滅菌します。

135℃以下で行ってください。



●高温洗浄消毒器の使用条件 (ハンドピース洗浄時)

右記マークの表示がある機器は、高温洗浄消毒器を使用できます。



使用機器	モリタ WD-150 IC Washer	ミーレ G7881
運転モード	80℃ 10分 又は 90℃ 5分 ※「乾燥工程あり」、「仕上げ剤あり」を選択してください。	Vario TD
洗剤 [濃度]	アイエスザイム [0.5% (初期設定値)]	ネオディッシャー液体洗剤 [0.3 - 0.5%]
すすぎ剤 [濃度]	アイエスミルク [0.15% (初期設定値)]	ネオディッシャーすすぎ剤 [0.02 - 0.04%]

- ・洗浄時は必ずハンドピースホルダーを使用し、ハンドピース内を十分すすいでください。
- ・薬剤の取扱いや濃度調整については洗浄器の取扱説明書を参照してください。
- ・洗浄終了後、ハンドピース内部まで十分乾燥しているか確認してください。ハンドピース内に水分が残っている場合は、エアガン等で吹き飛ばしてください。

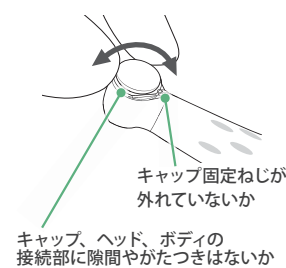
警告

- ・キャップ固定ねじの締付けを確認してください。キャップ固定ねじがしっかり締めつけられていないと、キャップやキャップ固定ねじが外れ、口腔内を傷つけたり、患者さんが飲込むおそれがあります。
- ・注油時はスプレー液が飛散して目に入るおそれがあるため、ガーゼなどでおおってスプレーしてください。

注意

- ・滅菌前の洗浄、消毒、注油を怠ると、故障の原因になります。
- ・注油には、必ず指定のスプレーを使用してください。
- ・スプレーするときは、必ずボトルを立てた状態で行ってください。
- ・スプレー液の除去を怠ると、モーターの発熱や故障の原因になります。
- ・スプレー液除去のためハンドピースを空回転させる際、プッシュボタンにふれないようにしてください。

●キャップ固定ねじの締付け確認



キャップ、ヘッド、ボディの接続部に隙間やがたつきはないか

警告

- ・インスツルメント類は、必ず患者さんごとにオートクレーブ滅菌を行ってください。

注意

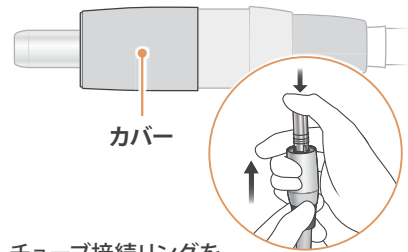
- ・滅菌・乾燥は、135℃以下で行ってください。
- ・オートクレーブ滅菌時、高温でOリングなどが損傷するおそれがあるため、熱源や缶体に密着させないようにしてください。
- ・バーポイントを装着したままオートクレーブ滅菌しないでください。
- ・オートクレーブ滅菌後は高温になっているため、十分に冷めるまで触れないでください。



取外し

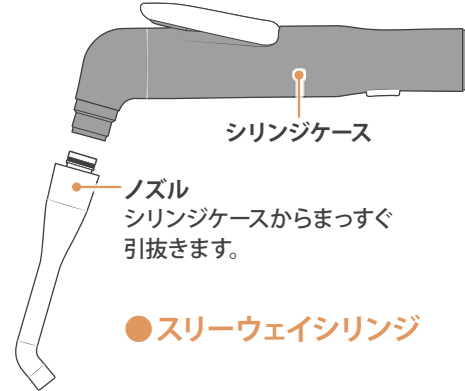
取外しできるパーツは、すべて別々に分離します。

● マイクロモーターのカバー



チューブ接続リングを持ちながら、モーターカバーを押さえ、親指で接続筒を押して、マイクロモーターからモーターカバーを外します。

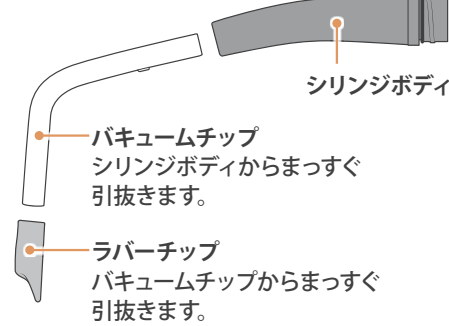
● スリーウェイシリンジ



シリンジケース

ノズル
シリンジケースからまっすぐ引抜きます。

● バキュームシリンジ

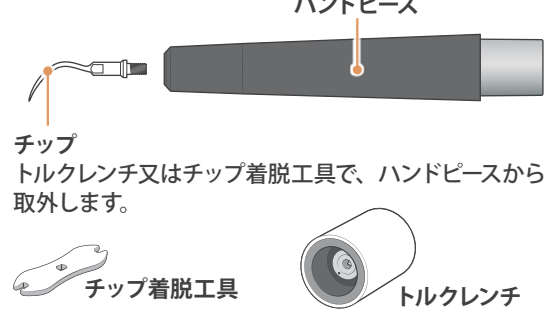


シリンジボディ

バキュームチップ
シリンジボディからまっすぐ引抜きます。

ラバーチップ
バキュームチップからまっすぐ引抜きます。

● 超音波スケーラー



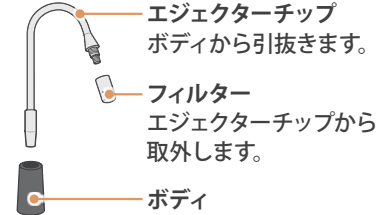
チップ
トルクレンチ又はチップ着脱工具で、ハンドピースから取外します。



⚠ 注意

・ハンドピースは超音波洗浄したり、タービンなどの洗浄装置や、薬液・洗浄水に浸漬して消毒しないでください。故障するおそれがあります。

● サライバエジェクター

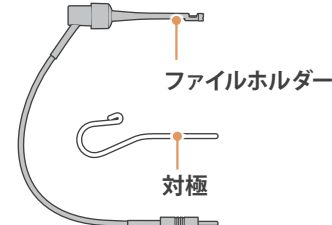


エジェクターチップ
ボディから引抜きます。

フィルター
エジェクターチップから取外します。

ボディ

● 根管長測定器



ファイルホルダー

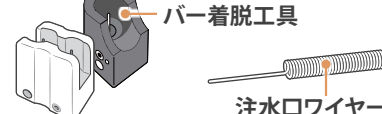
対極

● LED 光重合器



アイプロテクター

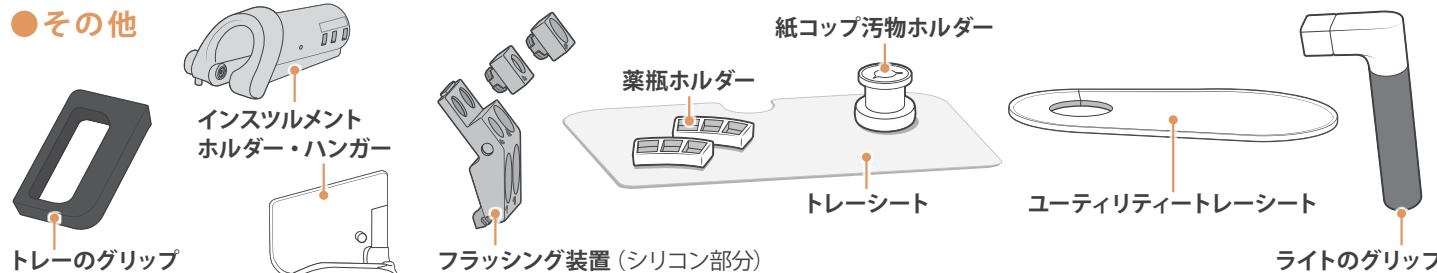
● ハンドピース付属品



バー着脱工具

注水口ワイヤー

● その他



インスツルメントホルダー・ハンガー

薬瓶ホルダー

紙コップ汚物ホルダー

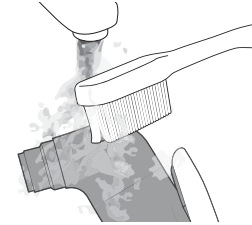
トレーシート

ユーティリティートレーシート

ライトのグリップ

洗浄

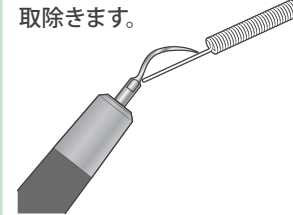
水道水で汚れを洗い流し、十分に清掃します。



超音波スケーラーの場合

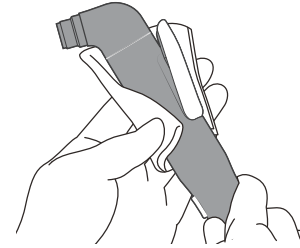
● チップの注水口の清掃

注水口の水垢やごみを、注水口ワイヤーで取除きます。



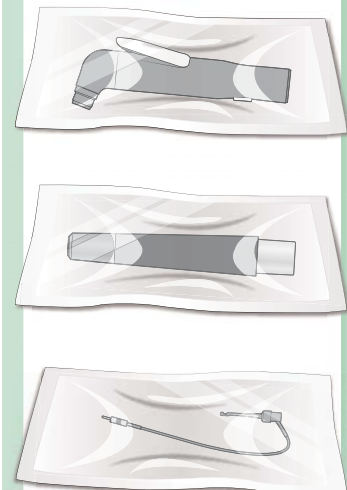
消毒

消毒用エタノールを含ませて硬く絞ったガーゼで払拭します。



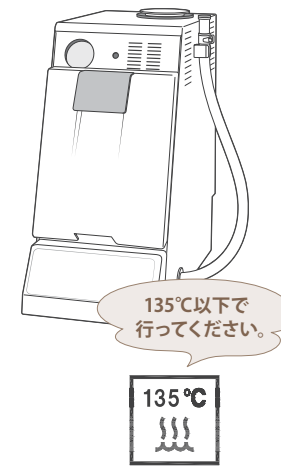
包装

個々に滅菌パックに入れて封をします。



滅菌

オートクレーブ滅菌します。



135℃以下で行ってください。

135℃

⚠ 注意

・取外せるパーツは、すべて別々に分離してオートクレーブ滅菌してください。

※ バー・ポイント・ファイルの滅菌推奨条件はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

⚠ 警告

・インスツルメント類は、必ず患者さんごとにオートクレーブ滅菌を行ってください。

⚠ 注意

・滅菌・乾燥は、135℃以下で行ってください。
・オートクレーブ滅菌時、高温でOリングなどが損傷するおそれがあるため、熱源や缶体に密着させないようにしてください。
・オートクレーブ滅菌後は高温になっているため、十分に冷めるまで触れないでください。